社会福祉法人　　河　北　会

令和５年度　事業報告書

（令和５年４月１日～令和６年３月３１日）

特別養護老人ホーム　さくらぎの里

さくらぎの里短期入所生活介護事業所

さくらぎの里居宅介護支援事業所

グループホーム　さくらぎ

令和５年度事業報告書

１．法人の経営概要

令和５年度は新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置づけが５類へ変更となった年であり、ポストコロナ時代に於いて我々社会福祉法人としての使命とは何か、その使命をいかに果たすべきかを模索する年度となりました。

そのような年度の中、当法人としては新たな取組として社会福祉学の専門家とスーパーバイザ―契約を行い、職員のレベルアップを図ることとしました。

契約の目的は地域の中で求められている社会福祉法人としての目的を果たすべく、職員一人一人のレベルアップ（人材育成）をすること。組織としてもレベルアップしていくこと（組織力強化）を目的としたものです。

年度途中半ばからのスーパービジョン実施でしたが、職員レベルアップ（人材育成）については、成果を見せてきており今後も引き続き実施していきます。具体的には職員同士のコミュニケーションが活発化したことから、各委員会等の議論が活性化しました。

合わせて組織力強化にもつながり、職員毎の責任の明確化と委員会活動の活性化で組織としての活動が活発になってきております。

次年度に向けての組織体制の整備も進め、我々独自の存在を如何に示すか模索しているところです。

令和５年度の実際のポストコロナ時代の活動としてはチャグチャグ馬コによる地域交流復活や特養において夏祭りによる家族間交流を実施し、入居者・入居者家族・職員ともに新たな時代を実感したものと思われます。

これからも利用者一人一人の尊厳に配慮した、質の高いサービスを提供できるよう引き続き精進してまいります。

前向きなポストコロナ時代の取り組みの一方、新型コロナウイルスが引き続き存在しており、感染対策を怠ることはできないと改めて感じた年度でした。

具体的には昨年度に引き続き特別養護老人ホーム入所者に新型コロナウイルス感染者が発生し、施設内療養対応を行いました。感染症法上の５類への変更により行政からの支援が無くなり、実際に感染症が発生した場合の対応も全て法人での判断での対応となりました。新型コロナ対応としては非常に厳しい１年となりました。

新型コロナウイルス以外にも令和５年度はインフルエンザも流行しました。感染症との共存もポストコロナ時代の課題の一つと認識しております。

２．法人の運営

（１）理事会の運営

①理事会の開催状況

回	年月日	場　所	出席者	議　案　等
1	5.5.25	３階地域交流センター	理事４名 欠席２名 監事２名	報告第１号 社会福祉法人河北会理長職務執行状況について
				議案第１号 令和４年度社会福祉法人河北会事業報告について
				議案第２号 令和４年度社会福祉法人河北会決算について
				議案第３号 令和５年度社会福祉充実計画の策定について
				議案第４号 社会福祉法人向け役員賠償責任保険の更新について
				議案第５号 社会福祉法人河北会定款細則の一部改正について
				議案第６号 社会福祉法人河北会理事候補者の推薦について
				議案第７号 社会福祉法人河北会監事候補者の推薦について
				議案第８号 令和５年度社会福祉法人河北会定時評議員会の議題に関する件について
2	5.6.13	３階地域交流センター	理事５名 欠席１名 監事２名	報告第１号 社会福祉法人河北会役員任期満了の伴う理事及び監事の選任結果の報告について
				議案第１号 社会福祉法人河北会理事長の選定について
3	5.11.21	３階地域交流センター	理事５名 欠席１名 監事２名	報告第１号 社会福祉法人河北会理事長職務執行状況について
				議案第１号 社会福祉法人河北会評議員の推薦（案）について
				議案第２号 社会福祉法人河北会令和５年度第一次補正予算（案）について

				議案第３号 令和５年度第２回社会福祉法人河北会評議員会の日時及び場所並びに議題・議案（案）について
4	6.3.18	３階地域交流センター	理事５名 欠席１名 監事２名	議案第１号 社会福祉法人河北会令和５年度第二次補正予算（案）について
				議案第２号 社会福祉法人河北会令和６年度事業計画（案）について
				議案第３号 社会福祉法人河北会令和６年度当初予算（案）について
				議案第４号 特別養護老人ホームさくらぎの里法面工事の資金調達に伴う施設整備積立金の取崩しについて
				議案第５号 令和５年度第3回社会福祉法人河北会評議員会の日時及び場所並びに議題・議案（案）について

②評議員会の開催状況

回	月　日	場　所	出席者	議　案　等
1	5.6.13	３階地域交流センター	評議員５名 欠席２名 監事２名	報告第１号 令和４年度社会福祉法人河北会事業報告について
				議案第１号 令和４年度社会福祉法人河北会決算に関し、承認を求めることについて
				議案第２号 令和４年度社会福祉充実計画の策定に関する承認について
				議案第３号 社会福祉法人河北会理事の選任について
				議案第４号 社会福祉法人河北会監事の選任について
2	5.12.5	３階地域交流センター	評議員６名 欠席１名 監事１名 欠席１名	報告第１号 令和５年度社会福祉法人河北会第一次補正予算（案）について
3	6.3.28	３階地域交流センター	評議員７名 欠席０名 監事２名	議案第１号 令和５年度社会福祉法人河北会第二次補正予算（案）について
				議案第２号 社会福祉法人河北会令和６年度事業計画（案）について
				議案第３号 社会福祉法人河北会令和６年度当初予算（案）について

③評議員選任・解任委員会

実施日	場　所	出席者	議案
5.11.24	３階地域交流センター	評議員選任・解任委員３名	評議員の選任について

④出納調査

実施日	内　　容	調査対象期間	監事	所　見
5.5.11	令和４年度第3、第４四半期	R4.10.1～R5.3.31	２名	指摘事項なし
5.11.7	令和５年度第１、第２四半期	R5.4.1～R5.9.30	２名	指摘事項なし

⑤監事監査

実施日	内　　容	監査対象期間	監事	所　見
5.5.11	決算監査	R4.4.1～R5.3.31	２名	指摘事項なし

（２）施設改修及び備品購入

①　受変電設備更新　　5,027,000 円

②　電話設備更新　　3,820,300 円

③　複合機更新　　1,255,042 円

※　整備状況の詳細については、【別紙２】の一覧表のとおり

（３）人材確保・継続雇用について

人材確保については介護業界全体の課題となっているが、当法人では人材確保の具体的手段として県社協福祉人材センター、ハローワーク、人材紹介会社を活用し、職員採用は１３名（退職者は１５名）でした。

なお、実習生の受け入れについては、新型コロナウイルス感染症対策として積極的に展開することができなかった。

（４）職員の資格取得について

医療的ケア第一号、同第二号研修を特養介護士２名、半固形栄養剤の行為の追加を特養介護士１名が修了し資格を取得した。グループホーム介護士が介護支援専門員１名取得、介護実務者研修終了１名修了した。

（５）介護職員に係る処遇改善

令和５年度は、介護処遇改善加算、特定介護処遇改善加算、介護職員等ベースアップ等支援加算（介護職員処遇改善支援補助金）により全職員（一部職員を除く）の処遇改善を図った。

３．特別養護老人ホームさくらぎの里及びさくらぎの里短期入所生活介護事業所の運営

（１）利用稼働率

①　特別養護老人ホームさくらぎの里

利用者の退居者数が１５名。昨年度より▲１０名で入院者が少なく、年間稼働率は９５．７％（前年度対比＋２％）となった。年度末に１ユニットでコロナウイルスが発生。罹患者が協力病院に入院となった。施設でコロナウイルスは収束したものの、協力病院での病棟内でコロナウイルス発生により、退院日が延期となり若干ではあるが稼働率低下を招いた。

②　さくらぎの里短期入所生活介護事業所

特養入所目的での長期利用、利用者家族のレスパイト目的の定期利用者が主。定期利用者のご家族に介護負担軽減を図るべく、利用日数延長を提案したことで稼働率の向上を図った。結果、年間稼働率は同じ７３．７％（前年度対比０．１％）となった。

※　上記内容の根拠資料については、利用者状況【別紙１】のとおり

（２）利用者決定委員会

入所に関しての透明性、公平性を確保するため、利用者決定委員会を計６回開催し、１６名（前年度比▲７名）の利用者が入所した。

開催数	開催日	認定者	入所者数
第１回	5.4.7	12 名	8 名
第２回	5.6.13	7 名	4 名
第３回	5.8.8	4 名	1 名
第４回	5.10.16	4 名	1 名
第５回	5.12.15	6 名	1 名
第６回	6.2.16	8 名	1 名
計		41 名	16 名

（３）総合防災訓練の実施状況

実施月	想定内容	訓練内容	参加者
5.6.9	日中想定	総合訓練 （消火・通報・避難誘導・消火器使用方法・屋内消火栓）	利用者 6 名 職　員 26 名
5.9.1	地震想定	シェイクアウト	職員 14 名 利用者 16 名
5.12.8	夜間想定	消火訓練	職員　6 名
5.12.19		避難訓練 （通報・避難誘導・緊急連絡網）	職　員　4 名 利用者 4 名

※夜間想定訓練は、ワクチン接種日と重なったため、避難訓練については別日に行った。

（４）広報委員会

①　広報「さくらぎだより」は年度計画とおり４回発行することが出来た。

②　ホームページは、行事以外にも法人からの知らせ等、新着情報欄を使い告知する事ができた。

（５）安全委員会・事故対策委員会・身体拘束適正化委員会・感染症対策委員会・安全衛生委員会・苦情解決対策委員会の活動

①　安全委員会

毎月第４木曜日に開催し、主に褥瘡発生リスクの高い利用者について情報共有、アセスメントを実施し、アルブミン採血や皮膚の湿潤等を参考に、褥瘡発生予防に努めた。また、褥瘡発生者については、看護師の継続的な処置やポジショニングの再調整、エアーマットの使用等について検討し褥瘡改善に向けて取り組みを行った。

面会制限解除について、面会体制、市内の感染症状況を考慮して検討を適宜

実施した。

② 事故対策委員会

令和５年度に保険者へ報告した事故６件（転倒・転落による骨折４件、火傷１件、誤嚥１件)。骨折の内１件は職員が介助を実施している最中に発生しており、介助方法の見直しや職員教育の体制の検討などを実施している。火傷は熱いお茶を本人がこぼしてしまい受傷。提供するお茶の温度や見守りの体制について検討を実施した。誤嚥については、それまで咀嚼・嚥下に問題はなく経過しており、急変した事例であった。施設内で、誤嚥や窒息の危険について再度情報共有を実施するとともに、家族にも状況の説明を実施している。

③ 身体拘束委員会

３ヶ月に１回開催。その他身体拘束が必要と考えられるケースがでたため、委員会を開催し、アセスメント、必要性を検討し、家族の同意を得て実施した。実施後の経過記録や適切な身体拘束であったかを再検討し情報共有を行った。

④ 感染症対策委員会

３ヶ月に１回第２木曜日に開催。感染症対策について、感染症発症時の対応について主に話し合いを実施した。面会制限の緩和措置についても検討を実施した。新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症発生時の対応、嘔吐物処理の実践研修を全職員に実施した。新型コロナウイルス発生時は感染対策本部を立ち上げ、感染状況や対策等について情報共有し、方針を決め対応することができ、感染拡大することなく、1 ユニットの感染のみで無事収束することができた。

⑤ 安全衛生委員会

労働災害１件と昨年度の 14 件より大幅に減らすことができた。

毎年実施している健康診断、保健指導、ストレスチェックに加え、熱中症対策（ウォーターサーバー設置)、転倒防止対策（すべり止めマットの導入)、受動喫煙対策（喫煙所の移動）を実施。健康診断、保健指導は実施率 100％達成。

⑥ 苦情解決対策委員会

利用者の権利を擁護し適切な施設運営を行うため、苦情受付窓口担当者及び苦情解決責任者を配置し、計４回開催した。

苦情件数については、年間通じて特別養護老人ホーム１件、短期入所生活介護事業所４件、居宅介護支援事業所０件、グループホーム０件の計５件の苦情があった。委員会開催日及び苦情内容は、次のとおりである。

開催期日	所管	苦　情　内　容
5.5.19	SS	① 職員の夜間の介助が荒く怖かったとの訴え ② 物品の洗浄や手指の清潔保持などが出来ていないとの訴え ③ 家から物が持ち去られているとの訴え
5.6.9	SS	④ 請求書が届かないとの訴え

6.2.15		過去６か月の状況を報告 家族アンケートの結果報告
6.3.22	特養	⑤　散髪した髪が短すぎるとの訴え

苦情①については、夜間のおむつ交換の介助を実施した職員の対応が荒く、ベッドにドンと置かれるように感じて怖かったとの内容であった。該当の職員とも話し合いを行い、職員より本人に直接謝罪を行っている。家族にも状況説明と謝罪を実施し、終結した。

苦情②については、ショートステイ退去後に担当居宅ケアマネより連絡を受け、家族に事実確認をしたところ、経管栄養に使用する物品の洗浄や管理が不十分でカビが発生している、手指に便が付着していた、目やにが付着していた、認知症の貼り薬が適切に管理されていないのではないか、入浴回数が少ないのではないかとの内容であった。ショートステイにて話し合いを開催し、経管栄養の物品と貼り薬については管理方法を統一した。退去前には手指と目やにの清潔保持ができているのか確認を実施し、入浴については利用期間中に２回入浴するように調整を実施することと決め、情報共有を行っている。担当居宅ケアマネと家族に謝罪し対応策を説明。了解を得たため終結している。

苦情③については、ショートステイ利用後に施設職員が自宅に自由に出入りし、私物を自宅から持ち去っているとの内容であった。利用者自宅へ訪問し、本人の訴えを確認したが、施設としては訴えのあった事実関係が確認出来なかった。必要であれば警察に通報していただくよう説明を実施。その後特に訴えはなく経過している。

苦情④については、ショートステイを利用した利用者家族より、利用料の請求書が自宅に届かない、施設が業務を怠っているのではないかとの内容であった。請求書は２回発送していることを確認し、自宅に伺い説明と謝罪を実施している。

苦情⑤については、散髪を実施したが、家族より髪型が短すぎる、もっと女性らしい髪型にして欲しかったとの内容であった。職員、理容師さんとも話し合いを実施し、本人・家族の意向の汲み取りが不足していたことを謝罪。再度施設全体で理容の間隔や髪型の意向確認を実施することとし、家族の了解を得られたため終結している。

（６）研修

新型コロナウイルス感染症が５類になった事から、外部研修への参加は若干増えた。

①　施設内研修実施状況

開催日時	研修内容		講　師
4/25 5/8	コロナ感染対応	コロナ発生時の流れ 防護服の着脱	小野寺主任看護師
5/19	防災訓練	自衛消防組織とは	中村事務員

5/26		館内設備	
6/16 7/11	救命救急	酸素ボンベ使用方法 AED、応急手当、	小野寺主任看護師
8/18 8/25	身体拘束①	身体拘束がもたらす影響	大堂上席介護士
10/13 1020	リスクマネジメント①	介護施設に起こりえるリスク	照井SV
1/12 1/26	リスクマネジメント②	服薬に関するリスクマネジメント	照井SV
3/8 3/22	身体拘束②	身体拘束の原則について	コロナ対応のため 資料配布

② 施設外研修受講状況

開催日	主催	テーマ	参加職種	参加者
5/10	盛岡市	令和 5 年度社会福祉法人全体指導会	施設長 事務長	雪ノ浦 昭子 雪ノ浦 需
5/10	中村商会	2023 業務用食材発表会	調理師	山口 侑子 佐々木 久美子 佐々木 優美
5/26	盛岡地区広域消防組合消防本部	盛岡市地区防火協力会総会 防火安全対策について	事務員	中村 健太郎
6/2	県社協 高齢協	令和5年度福祉・介護に関する意見交換研修会	事務長	雪ノ浦 需
6/7	盛岡市	令和 5 年度新型コロナウイルス感染対策研修会	看護師 GHCM	菅野 久美子 井上 扶実子
6/28	盛岡市	令和 5 年度給食従事者研修会	管理栄養士 栄養士	樋ノ口君恵 山口 侑子
7/10	岩手労働局	令和 5 年度管内求人事業所と県内高等学校進路担当教師との情報交換会	事務長	雪ノ浦 需
7/13.14 8/23.24 9/29	いきいき岩手支援財団	令和 5 年度岩手県認知症介護実践者研修	介護士	菅野 明文
7/25	介護労働安定センター	レクリエーション活動研修	介護士	横田 キエ子

7/31	全国老人福祉施設協議会	令和 5 年度介護施設における安全対策担当者研修	事務長	雪ノ浦　需
9/13	岩手県社会福祉法人経営者協議会青年会	岩手県社会福祉法人経営者協議会青年会令和 5 年度第 1 回総会・第 1 回セミナー	事務長	雪ノ浦　需
9/25	いわてユニットケア研究会	いわてユニットケア研究会第 28 回研修会	上席介護士 ユニットリーダー	大堂　公晋 大畑　英弘 佐藤　聡洋
10/10～13	日本ユニットケア推進センター	ユニットリーダー研修	ユニット リーダー	吉田　健太
10/24	盛岡市	盛岡市地域福祉ワークショップ	事務長	雪ノ浦　需
10/26.27	岩手県社会福祉協議会	エルダー・メンター制度導入研修	上席介護士 ユニット リーダー	大堂　公晋 大畑　英弘
11/7	岩手県社会福祉協議会	エルダー・メンター制度導入研修	GH 管理者	佐藤　義久
12/12～15	日本ユニットケア推進センター	ユニットリーダー研修	ユニット リーダー	中田　信孝
11/20	岩手県立大学	臨床に活かすリンパ浮腫へのケア	看護師	佐々木　麻実
11/27	いわての保健福祉支援研究会	令和 5 年度ケアマネ支援センター巡回相談研修	介護支援専門員	加藤　仁
11/28	中央ブロック高齢者福祉協議会	令和 5 年度中央ブロック高齢者福祉協議会新任研究会	調理師	佐々木　優美
12/6	盛岡市	盛岡市電子申請システム等に関するオンライン説明会	事務長	雪ノ浦　需
12/12	介護労働安定センター	認知症を理解する	介護士	椿谷　幸子
12/12	岩手県	福祉人材定着支援セミナー	上席介護士 ユニットリーダー	大堂　公晋 吉田　健太
12 月中	いきいき岩手支援財団	令和 5 年度岩手県認知症基礎研修	介護員	菅原　百花 田村　さおり 吉田　翠

12/26.27	盛岡市	新人職員指導者支援研修	事務長	雪ノ浦　需
1/19	中央ブロック高齢者福祉協議会	職員研究大会(全体会、事務部、介護部、栄養部)	施設長 事務長 介護主任 管理者 介護士 介護士 栄養士 事務員	雪ノ浦　昭子 雪ノ浦　需 大堂　公晋 佐藤　義久 井上　真衣 小笠原　正樹 山口　侑子 中村　健太郎
1/24	社会福祉法人経営者協議会	都道府県経営協セミナー	事務長	雪ノ浦　需
2/9	岩手県社会福祉協議会	福祉人材定着支援セミナー	主任ユニットリーダー 管理者	小林　日和 井上　真衣 佐藤　義久
2/27	介護労働安定センター	新人介護職員指導者支援セミナー	上席介護士 介護支援専門員 介護士	大堂　公晋 瀧澤　愛華 藤原　友理奈
3/19.21	岩手県	令和 6 年度介護報酬改定説明会	多職種	雪ノ浦昭子 他6名

（７）実習生の受入状況

令和５年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、積極的に受入を行えなかった。

（８）ボランティア・福祉体験受け入れ・施設行事・サークル活動

① ボランティア・福祉体験受入状況

新型コロナウイルス感染症対策のもと、青松支援学校の生徒職員を招いて花寄せを実施した。

② 施設行事・ユニット行事実施状況

新型コロナウイルス感染症対策のもと、チャグチャグ馬っコ、夏祭り、敬老会、作品展示会を実施した。

９月に岩手グルージャ盛岡様より試合観戦の招待を受け、職員２名、利用者２名が参加した。

※ユニット行事実施状況については【別紙４参照】

③ サークル活動実施状況

新型コロナウイルス感染症対策のため、外部講師の受入は中止とした。

（９）利用者家族交流会について

新型コロナウイルス感染症対策のため、中止とした。

（10）生活介護

① 個別ケアとサービス向上への取り組み

介護記録支援システム「ほのぼの」を運用し５年になる。利用者個々の状態把握に努め、各職種と情報共有しながら連携を図り、より良いサービスを提供できるよう創意工夫を行っているが、入所者の重度化により入退院も多く継続的な支援及びＡＤＬの維持に繋がらないケースが散見された。

今年度から利用者と家族の面会についてはオンライン面会を継続しつつ、対面での面会を再開した。

また、新型コロナウイルス感染症の５類移行により、外部研修にも参加し、内部研修において周知を行った。

② ユニット行事（趣味活動）について

コロナ前と同等では無いが、今年度から新型コロナウイルス感染症対策をし、利用者同士で協働する企画などを行った。

（11）医務室

新型コロナウイルスが 5 類へ移行されたが、緊急時対応マニュアルを修正し、連絡体制の強化を図った。変わらず新型コロナウイルス感染症対策の周知に努めた。

協力病院とは、月 1 回以上の回診、定期薬処方、定期健康診断などにより、利用者の情報を提供し連携を図った。またワクチン接種（コロナワクチン、インフルエンザ、肺炎球菌ワクチン）等も希望者に対して円滑に実施することができた。

利用者の状態変化時は他職種とのカンファレンスを実施、情報を共有し、異常の早期発見、受診につなげることができた。またポプラ薬局と情報共有、連携し利用者の内服薬の管理に努めた。

発熱等の症状や病状の変化、病院受診等の報告は適宜ご家族の方へ連絡し、情報を共有し、経過についてご理解を頂いた。また協力病院以外の病院受診についてはご家族の方へ受診の協力を依頼しご協力を頂いた。

担当者会議では体調の変化や日常の健康面や生活について、内服薬の変更等の情報提供を行った。

ヒヤリハット、事故発生時初期対応を行い、必要時病院受診につなげることができた。

医療的ケア指導者養成研修に看護師 1 名が参加し指導資格を取得した。また、医療

的ケア研修に介護士３名参加し、２名が新規で資格取得、１名半固形栄養剤の追加行為の資格を取得した。

（12） 機能訓練

① 利用者の身体機能維持と介護予防活動の活性化

各利用者の身体機能を３か月ごとに定期的に評価し、カンファレンスにおいて他職種にて検討を行い、担当者会議を通じ本人、家族に機能訓練計画書の同意を得て実施した。日常生活動作が継続して機能維持が出来るよう、生活リハビリを軸としてユニット職員や他職種との連携を図り、居室内の環境整備、福祉用具の管理導入、離床機会の提供、車椅子のシーティング及びポジショニングの検討実施、拘縮予防や褥瘡対策、基本動作訓練等に関わりながら努めていった。

② 介護予防活動や社会参加の取り組み

介護予防活動の取り組みとしては、さくらぎ農園（種まき・苗植え・水やり・収穫）習字、ユニット体操、暑中見舞いハガキ・年賀状作り、みずき団子作り、七夕飾りなどを実施した。サークル活動は新型コロナウイルス感染症対策のため外部講師を招いての活動は中止したが、利用者間の交流を軸として、季節の作り物等を実施した。

（13）栄養・調理

・ 栄養ケアマネジメントについては、一人ひとりの身体状況、咀嚼・嚥下機能、嗜好・意向等を基に栄養ケア計画書を作成し、課題がみられた場合は多職種で検討し、各利用者様に合った食事の提供に努めたが、８月より管理栄養士不在の為、栄養ケア計画書の作成は行えていない。

・ 食事提供については、給与栄養目標量に基づき献立作成を行い、食材も旬のものを取り入れ、冬季には土鍋料理も提供し、食事からも季節が感じられるよう取り組んだ。行事食は、敬老会の松花堂弁当やクリスマスケーキ、大晦日の松花堂弁当、年越しそばの他、祝日に合わせた行事食を提供した。毎年寿司の日は三寿司様のお寿司を提供していたが、物価高騰の影響のため、厨房で寿司を作り提供した。ちゃんこ太五郎様は３年ぶりに来設して頂いて実施した。新型コロナウイルスで行事が少ない中、日々の食事でも楽しんでいただけるよう、「行事食又はセレクト食（おやつ含む）を月 2 回以上実施」という目標は達成した。

・ 食事形態については、食材の見直し等を随時行っている。

・ 減塩対策については、「一日あたり食塩相当量6.5g未満」に調整すべく、麺・パン・変わりご飯の提供頻度の調整、だしわり醤油・だしわりポン酢の使用に加え、麺・パン・変わりご飯の日等、一日の食塩相当量が多い日の夕食は味噌汁をヨーグルト等の

乳製品に変更し、今年度の平均食塩相当量は一日あたり 6.4g であり、目標の 6.5g 未満を達成できた。

・ 食中毒や感染症予防については、日頃から食材・器具・調理場の衛生管理を徹底し、安全な食事の提供に努めた。衛生害虫駆除については、厨房内は業者による点検を月 1 回実施し、ユニット等で衛生害虫が発生した場合も、業者による点検・必要時には薬剤散布をその都度実施し、衛生管理を徹底した。ノロウイルスによる食中毒予防として、栄養・調理職員のノロウイルスの検便検査を 2 月に実施した。

・ グループホーム職員に対する栄養指導については、月 1 回の栄養会議で、施設全体の課題、利用者様ごとの課題について、検討、助言を行った。咀嚼・嚥下機能低下がみられる利用者様が増えていることから、ソフト食の導入や、栄養補助食品の使用も検討し、より利用者様一人ひとりの状態に合った食事提供ができるよう努めたが、８月より管理栄養士が不在の為、グループホームの栄養指導は行えていない。

行事食（セレクトおやつを含む）の実施状況

年	月	食事の内容
R5	4	セレクトおやつ：春の和菓子セレクト 春の彩り御膳：昼食（桜ちらし、山菜の天ぷら、菜の花煮浸し、天つゆ、果物）
	5	こどもの日：昼食（親子ちらし、さくらしゅうまい、フルーツヨーグルト）、おやつ（柏餅） セレクトおやつ：クレープセレクト 母の日：カーネーションの練りきり
	6	インド料理：昼食（ホワイトブレッド、ひよこ豆のカレー、コールスローサラダ、マンゴーラッシー） セレクトおやつ：ケーキセレクト
	7	七夕：昼食（七夕そうめん、夏おでん、果物）、おやつ（七夕練りきり） セレクトおやつ：アイスクリームセレクト 土用の丑：昼食（お好みひつまぶし、夏おでん、果物） 夏祭り：昼食（カレーライス、果物）、おやつ（スイートポテト）
	8	セレクトおやつ：和菓子セレクト お盆：昼食（赤飯、天ぷら、ところてん、天つゆ、果物）
	9	十五夜：昼食（月見そば、炊き合わせ、果物）、おやつ（お月見ゼリー） セレクトおやつ：ロールケーキセレクト 敬老会：昼食（松花堂弁当）、おやつ（紅白まんじゅう）
	10	セレクトおやつ：秋の練りきりセレクト ハロウィン：おやつ（手作りかぼちゃプリン）
	11	寿司の日：昼食（にぎり寿司、茶碗蒸し、果物、ジョア） セレクトおやつ：クレープセレクト
	12	セレクトおやつ：冬の和菓子セレクト クリスマス・イブ：おやつ（クリスマス練り切り） クリスマス：おやつ（クリスマスケーキ・白石食品工業より寄贈） 大晦日（昼食：松花堂弁当、夕食：年越しそば）
R6	1	正月料理（1~3 日） 人日(じんじつ)の節句（昼食：七草粥、他）

		成人の日（昼食：ネギトロ丼、炊き合わせ、フルーツヨーグルト） 鍋料理：昼食（豆乳鍋、他） セレクトおやつ：ロールケーキセレクト
	2	節分：昼食（太巻き・にぎり寿司、茶碗蒸し、いわしつみれ汁、フルーツヨーグルト）おやつ（節分和菓子） 鍋料理：昼食（石狩鍋、他） バレンタインデー：おやつ（チョコレートケーキ） セレクトおやつ：クレープセレクト
	3	ひなまつり：昼食（海老のちらし寿司、茶碗蒸し、フルーツヨーグルト）、おやつ（桜餅） ちゃんこ鍋：昼食（しょうゆちゃんこ・ちゃんこ太五郎出前） 鍋料理：昼食（水餃子鍋、他）

（14）中期経営計画の「問題解決に向けた取組み」に対する実績及び評価

①　施設部門

課題	ベッド稼働率の向上		
取組方針	・申込者増に向け、関係機関に対し定期的に情報提供を行う。 ・空室期間の短縮のため、定期的に待機者リストに基づく待機者の現況調査を実施する。 ・稼働率向上のため、居宅介護支援事業所及び生活相談員との情報を共有し、空床ショートの利用に努める。		
目標項目	令和５年度		
	目標値	実　績	目標対比
ベッド稼働率	９４％	９５.７％	１．７％

課題	会議、委員会の役割と周知徹底		
取組方針	・介護保険上求められる委員会活動と運営上必要な委員会活動を明確にし、委員会活動が日常業務の中に反映される仕組み及び委員会の役割分担を構築する。 ・委員長は、委員からの関係資料の提出を受けて、会議資料及び参考資料を取りまとめる。 ・事前の資料配布を徹底し、短時間開催の徹底に努める。 ・会議・委員会を通じ、介護報酬加算要件等の共通認識を高める。 ・周知方法の見直しを検討する。 ・グループホームとの共催により、情報共有及び情報交換を積極的に展開する。		
目標項目	令和５年度		
	目標値	実　績	目標対比
会議・委員会の役割周知	令和５年 ４月	令和５年 ４月	職員会議にて周知

課題	組織的な安全対策体制の構築
	・ＰＤＣＡサイクルを活用し、利用者の安全確保及び健康の維持に努め

取組 方針	る。 ・年に２回アンケート調査を行い、個々のケアに対する見直しを行う。 ・事故防止に関する指針の見直し、事故発生報告及び改善策周知徹底体制の整備並びに定期的な研修の実施に努める。 ・虐待防止に関する指針を整備し、内部研修等を通じて周知に努める。

目標項目	令和５年度		
	目標値	実　績	目標対比
研修実施	随時又は 定期２回	２回	達成した

課題	施設利用者の身体機能低下予防と介護予防活動の活発化
取組 方針	・個別実施計画に基づいた生活リハビリ、機能訓練の実施と定期的な評価と見直しに努める。 ・カンファレンスや実施プラン等の利用者情報及び報告について、情報の共有化の徹底を図る。 ・多職種の協力を得ながら、機能訓練並びに介護予防活動の強化を図る。 ・誤嚥性肺炎の予防に向けた、取り組みの定着を図る。

目標項目	令和５年度		
	目標値	実　績	目標対比
・機能訓練実施プラン ・介護予防活動 } 定期的な評価と見直し実施	３ヵ月毎	３ヵ月毎	達成した
・機能訓練実施プラン ・介護予防活動 } 実施・参加回数	一か月 ２回以上	一か月 ２回以上	達成した

課題	利用者の安全管理の徹底
取組 方針	・介護職員に対して症状別の研修を実施し、異常の早期発見に努める。 ・ヒヤリハット報告書で同じような事例が続くときは、ＰＤＣＡサイクルを活用し原因分析又は多面的アプローチを検討する。 ・医療的ケア研修の継続的支援に努める。 ・新たなＰＥＧ増設者への安全の配慮及び注意事項の確認に努める。 ・家族間及び他職種間との情報共有により連携を図り、利用者の健康維持及び事故防止に努める。 ・家族に状態変化又は受診結果を随時報告し、信頼関係を構築する。 ・回診、定期採血、定期健康診断の実施により、重症化の防止に努める。

目標項目	令和５年度		
	目標値	実　績	目標対比
施設内研修の実施	２回	２回	達成した
「医療的ケア」研修の参加	介護職員	介護職員 ３名	新規取得２名 半固形１名

課題	感染症対策の充実及び徹底
取組	・新型コロナウイルス感染症時における業務継続に関し、定期的に委員

方針	会を開催し研修及び訓練の実施に努める。 ・吐物処理及び防護服着脱研修を強化し、感染拡大防止に努める。 ・新型コロナウイルス感染症マニュアルの周知を行い、感染症予防対策や緊急時への備えを講ずるとともに、実情に即しマニュアルの見直しを適宜行う。 ・新型コロナウイルス感染対策の情報共有及び対応指導の徹底を図る。 ・インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染予防接種の実施、汚物処理、防護具、手洗い方法等の周知徹底を図り、感染症予防に努める。 ・新型コロナウイルス感染症発生時に、業務に支障が出ないようＢＣＰの精度を高める。

目標項目	令和５年度		
	目標値	実　績	目標対比
感染委員会の定期開催	３か月に１回	４回	達成した
感染症予防の周知と研修の実施	６回	８回	達成した

課題	快適な食生活の支援
取組方針	・栄養並びに心身の状況を考慮した、栄養マネジメントを実施する。 ・栄養ケア計画に基づき、栄養、嗜好、季節感を考慮したメニューを作成する。 ・日々可能な限りユニットを回り、利用者から食事に対する意見を聴取し食の改善につなげる。 ・食中毒や感染症予防対策は、職員の意識を向上させ日常的な注意喚起と衛生管理の徹底に努める。 ・調理従事者の月１回の定期的な検便検査の他に、最低年１回はノロウイルスの検便検査を実施する。ノロウイルス流行時や発生時には、状況に応じて都度検査を実施する。 ・グループホーム職員に対し、栄養ケアに関する助言、指導を実施する。

目標項目	令和５年度		
	目標値	実　績	目標対比
食事の減塩対策	６．５ｇ未満／日	６．４ｇ	０．１ｇ減
行事食又はセレクト食の提供（おやつを含む）	月２回以上	月２回	達成した

課題	地域に根ざした施設運営の推進
取組方針	・地元町内会等地域住民に対して、福祉に関する教室、説明会等を開催し地域貢献につなげる。 ・施設行事に地域住民やボランティアの参加を募り、交流を深める。 ・災害時の避難協力及び利用者の捜索時等において、積極的に協力いただくよう町内会への要請に努める。 ・岩手県社会福祉協議会ボランティア（市民活動センター）を通じ、ニーズにあった新規ボランティアの確保を行う。

目標項目	令和５年度

	目標値	実　績	目標対比
地域住民との交流（講演会等の開催、施設見学会の実施等）	随時（感染対策を考慮）	１件	盛岡青松支援学校交流

課題	職員研修の充実と専門性の向上		
取組方針	・　リモートによる外部研修への積極的な参加を促す。 ・　無資格職員への「認知症介護基礎研修」の受講を必須とする。 ・　職員の資格取得を奨励し、積極的な情報提供を行っていく。		
目標項目	令和５年度		
	目標値	実　績	目標対比
施設内研修の開催回数	７回	１２回	達成した
ボランティアの積極的受入	随時 (感染対策を考慮)	１件	夏祭り (岩手ｸﾞﾙｰｼﾞｬ盛岡)
職員の資格取得率（専門職員数に対する介護支援専門員・介護福祉士の取得割合）	６０％	７５％	達成した

課　題	利用者・家族の満足度と接遇マナーの向上		
取組方針	・利用者の尊厳を重視したサービスが浸透するよう、接遇マナー、社会常識、虐待防止等に関する研修を実施する。 ・アンケート内容は、各職種が携わる項目を設定し、結果と実態を踏まえ要因分析と改善策を全職員に周知徹底する。 ・広報「さくらぎだより」を定期発行し、家族とのつながりを強化することで相談しやすい環境作りに努める。		
目標項目	令和５年度		
	目標値	実　績	目標対比
利用者・家族等へのアンケート実施回数	年２回	年１回	▲１回
上記アンケート結果による満足度	９０％	９３％	達成した

課題	情報開示・情報提供の充実		
取組方針	・広報紙は、特養とグループホーム一体として発行する。 ・施設選定の参考となるべく、魅力あるホームページの掲載内容を検討・精査し、定期的な更新を行う。		
目標項目	令和５年度		
	目標値	実　績	目標対比
「さくらぎだより」の定期発行	年４回	年４回	達成した
ホームページの充実	６回以上更新	２５回更新	達成した

② 短期入所生活介護事業所部門

目標項目	目標値	実績	目標対比
ベッド稼働率	７３％	７３．６％	＋０．６％

５．さくらぎの里居宅介護支援事業所の運営

（１）利用稼働率

常勤換算２．０体制と変更なし。松園緑が丘地域包括支援センター、医療機関等からの紹介等により、定期的な新規利用者の契約を維持している。

月平均件数６６．６件（前年度対比＋３件）となった。（目標値６０件、介護予防除く）

※ 上記内容の根拠資料については、利用者状況【別紙１】のとおり

（２）活動内容

① コロナ感染拡大に伴う予防対策をしながら、減算なくモニタリング訪問を行った。易感染の利用者、有料老人ホームの入居者等訪問が制限されている方、コロナ罹患者については5類移行後も盛岡市介護保険課給付係に確認し電話モニタリングにて適正に行っている。

② 担当者会議や地域ケア会議について対面での開催が増えてきている。他事業所との顔の見える連携を行い、ケアマネジメントの質の向上に努めている。

③ 一つ一つのケースの適切なケアマネジメント、丁寧で迅速な対応を行う事、困難ケースも受け入れ連携を図る事で包括支援センター、関係機関との信頼関係の構築がなされ、継続的な新規依頼に繋がっていると考察する。

④ 経験年数に応じた研修に参加し、マネジメント力の向上に役立てることが出来ている。

⑤ 特定事業所加算算定を目指しているが、人員の確保が令和５年度はできなかった。介護支援専門員就労希望者の減少、原因の介護支援専門員の連例を考慮し今後の介護支援専門員確保は課題となっている。

⑥仁王・上田包括支援センターと合同で高松地区にて介護相談会を実施した。

（３）中期経営計画の「問題解決に向けた取組み」に対する実績及び評価

指　標	令和４年度実績	令和５年度		
		目標値	実　績	前期比
居宅介護計画作成件数（平　均）	６３.６件	６０件	６６．６件	＋６．６件

６．グループホームさくらぎの運営

（１）事業活動内容の総評

令和５年度の目標稼働率は95%であったが、実稼働率は93.5%となった。持病の進行や悪化に伴う入院による稼働率低下が要因と考えられる。
入居者については、新型コロナウイルスの５類移行に伴い、外出支援による施設外活動の機会を増やし社会活動への参加を図る事ができた。また、本人の自己決定を尊重し支援することを心掛け、食事や趣味、本人の希望に寄り添う介護を行った。排泄の自立支援、認知症の進行防止等、在宅生活からの継続性を重視した個別サービスも提供出来ている。
医療連携面では、入居者が良好な健康状態を維持できるよう、入居者個々の主治医や、施設の協力病院と協力歯科との連携を図り、緊急時など適切な対応を取る事ができた。利用料の支払いについて、家族負担軽減の対応を実施した。
令和５年度も、サービスの質の向上を高めるため、引き続き職員の知識面、技術面のレベルアップを目指し、積極的に入居者へ満足度していただける様な支援を職員全員で提供できるよう努めていく。

※令和５年度の活動内容等の詳細は次のとおりである。

（２）入居者の身体状況等（令和５年４月１日現在）

	平均介護度	平均年齢	最高年齢	最少年齢
男　性	要介護　2.5	84 歳	88 歳	80 歳
女　性	要介護　2.3	86.2 歳	98 歳	80 歳
全　体	要介護　2.3	87.8 歳		

（３）日常生活

①援助方針

入居者主体の生活を基本とし、毎日の生活に楽しみや、役割を持ちながら穏やかに過ごしていただく為に、職員は認知症の理解と対応についてカンファレンス、意見交換を行い認知症ケアの知識と経験を積み重ねることで、一人一人の意思の確認と尊重が一番大切であることを、意識して支援した。

②安全管理の徹底

介護職員会議（1.2F 職員参加）を継続し情報や課題の共有を図った。また、事故を未然に防ぐためのヒヤリハット報告強化についての取り組みを実施した。

③健康管理・感染症対策

新型コロナウイルス、インフルエンザ感染症予防の為のマニュアルを整備しながら予防対策を徹底してきた。引き続き感染予防対策を引き続き行うとともに、厚生労働省等からのガイドラインに沿って、利用者の健康管理に全職員で日々取り組んでいく。

④食事

食事の提供時間		摂取状況【つばき】	摂取状況【ぼたん】
配膳時間		全面介助　０人	全面介助　０人
朝食	７：３０	半介助　２人	半介助　１人
		ほぼ自立　７人	ほぼ自立　８人
		自助具使用　０人	自助具使用　０人
昼食	１２：００	食事形態状況【つばき】	食事形態状況【ぼたん】
		普通食　８人	普通食　８人
		刻み食　１人	刻み食　１人
夕食	１８：００		
※残食調査の実施状況　…　毎食実施			
※献立は、栄養バランスを考慮し季節にあった食事や行事食を定期的に提供。			

⑤入浴・排泄・移動

【つばき】

入浴の実施状況	おむつの使用等の状況	機器等の使用状況		
入浴回数　週２回以上	紙おむつ使用者　０人	機器名		施設内
一般浴	リハビリパンツ使用者　７人	車椅子	操作自立	０人
対象者数　９人			操作介助	０人
内　ほぼ自立　１人	尿取りパットのみ使用者１人		操作見守	０人
半介助　８人	未使用者　１人	歩行器		１人
全介助　０人	※日中、夜間共に随時確認の	杖		１人
入浴日　１日３人を入浴	上、交換している。	独歩・ほぼ自立		５人
		介助歩行		２人

【ぼたん】

入浴の実施状況	おむつの使用等の状況	機器等の使用状況		
入浴回数　週２回以上	紙おむつ使用者　０人	機器名		施設内
一般浴	リハビリパンツ使用者　８人	車椅子	操作自立	０人
対象者数　９人			操作介助	０人
内　ほぼ自立　１人	尿取りパットのみ使用者１人		操作見守	０人
半介助　８人	未使用者　０人	歩行器		０人
全介助　０人	※日中、夜間共に随時確認の	杖		１人
入浴日　１日３人を入浴	上、交換している。	独歩・ほぼ自立		８人
		介助歩行		０人

(4) 事故・ヒヤリハット状況について

令和５年度の報告分析結果として、転倒については持病の進行、体調悪化時が原因とされるものが主だっていた。継続対策として毎日の軽体操を１日１回から２回に増やした事や、YouTube などのコンテンツ利用による「老人向けの様々な体操」を提供できた事が、下肢筋力の低下予防に一定の効果を得る結果となったと考えられる。
今後も引き続き防止策を検討すると共に、事故防止に向けたカンファレンスを定期的に開催、再発防止に努める。

(5) 研修受講状況

〈外部研修〉
・認知症介護基礎研修
・認知症介護実践者研修
・新型コロナウイルス感染対策研修会
・レクリエーション活動研修会
・エルダー・メンター制度導入研修会
・認知症を理解する
・中央ブロック職員研究大会
・福祉人材定着セミナー
・新人介護職員指導者支援セミナー

〈内部研修〉
・身体拘束研修（２回）
・リスクマネジメント（２回）
・コロナ感染対応
・防災訓練
・救命救急

(6) 行事の実施状況

開日		行事名	開催場所	参加者
4月	10.11日	お花見ドライブ	高松の池	全入居者、職員
	15日	つばき誕生会	施設内	つばき入居者、職員
	30日	ぼたん	施設内	ぼたん入居者、職員
5月		花苗	施設内	全入居者、職員
	25日	ぼたん誕生日会	施設内	ぼたん入居者、職員
6月	6日	チャグチャグ馬っこ見学	特養	全入居者、職員
	1日	つばき誕生日会	施設内	ぼたん入居者、職員

	22日	ぼたん誕生日会	施設内	つばき入居者、職員
7月		オレンジガーデンプロジェクト	施設内	全入居者、職員
	23日	つばき誕生日会	施設内	つばき入居者、職員
8月		流しそうめん	施設内　庭	全入居者、職員
	5日	高松地区夏祭り見学	老人憩の家	全入居者、職員
	22日	つばき誕生日会	施設内	つばき入居者、職員
	18日	ぼたん誕生日会	施設内	ぼたん入居者、職員
9月	18日	敬老を祝う会	施設内	全入居者、職員
	27日	秋祭り	施設内	全入居者、職員
	5日	つばき誕生日会	施設内	つばき入居者、職員
10月	11日	芋の子会	施設内	全入居者、職員
	27日	高松地区作品展参加	老人憩の家	全入居者、職員
	15日	つばき誕生日会	施設内	つばき入居者、職員
	7日	ぼたん誕生日会	施設内	ぼたん入居者、職員
11月		紅葉ドライブ	盛岡市内	全入居者、職員
12月	24日	クリスマス会	施設内	全入居者、職員
	12日	ぼたん誕生日会	施設内	ぼたん入居者、職員
1月	1.2日	書初め	施設内	全入居者、職員
	18日	みずき団子	施設内	全入居者、職員
	2日	つばき誕生日会	施設内	つばき入居者、職員
	27日	ぼたん誕生日会	施設内	ぼたん入居者、職員
2月	3日	節分豆まき	施設内	全入居者、職員
3月	3日	ひなまつり	施設内	全入居者、職員
	21日	つばき誕生日会	施設内	つばき入居者、職員

(7) 運営推進会議の開催状況

日時	回数	出席者	記　録 (議事録) の有無	会議の主な内容
4月19日	第1回	・グループホーム施設長 ・グループホーム管理者 ・グループホームケアマネ ・仁王・上田地域包括センター職員 ・盛岡市職員 ・介護保険に知見を有する方 ・入居者家族 計7名	有	ＧＨ活動報告 事業実施内容（入居状況） 今後の活動予定 各委員の意見集約等
6月21日	第2回	・グループホーム施設長 ・グループホーム管理者 ・グループホームケアマネ ・仁王・上田地域包括センター職員	有	ＧＨ活動報告 事業実施内容（入居状況） 今後の活動予定 各委員の意見集約等

		・盛岡市職員 ・介護保険に知見を有する方 ・入居者 ・入居者家族 ・高松３丁目町内会長 計９名		
８月 23 日	第３回	・グループホーム施設長 ・グループホーム管理者 ・グループホームケアマネ ・仁王・上田地域包括センター職員 ・盛岡市職員 ・介護保険に知見を有する方 計６名	有	ＧＨ活動報告 事業実施内容（入居状況） 今後の活動予定 各委員の意見集約等
10 月 18 日	第４回	・グループホーム施設長 ・グループホーム管理者 ・グループホームケアマネ ・仁王・上田地域包括センター職員 ・盛岡市職員 ・介護保険に知見を有する方 ・入居者 ・入居者家族 ・高松３丁目町内会長 計９名	有	ＧＨ活動報告 事業実施内容（入居状況） 今後の活動予定 各委員の意見集約等
12 月 20 日	第５回	・グループホーム施設長 ・グループホーム管理者 ・グループホームケアマネ ・仁王・上田地域包括センター職員 ・盛岡市職員 ・介護保険に知見を有する方 ・入居者 ・入居者家族 ・高松３丁目町内会長 計９名	有	ＧＨ活動報告 事業実施内容（入居状況） 今後の活動予定 各委員の意見集約等
R6 年 2 月 21 日	第６回	・グループホーム施設長 ・グループホーム管理者 ・グループホームケアマネ ・仁王・上田地域包括センター職員 ・盛岡市職員 ・介護保険に知見を有する方 ・入居者 ・入居者家族 ・高松３丁目町内会長 計９名	有	ＧＨ活動報告 事業実施内容（入居状況） 今後の活動予定 各委員の意見集約等